



CINECITA' 1937

チネチッタ

チネチッタ 1937 ～ルールブック～



プレイ人数
3～5人



プレイ時間
20～30分



対象年齢
12歳以上

🎮 ゲームの目的

ここはローマ郊外の映画撮影所。
世界の中から数多^{あまた}の人々が、それぞれ自分の理想とする自分のための映画を創り出そうと集まっています。
そんな場所でああなたは自分の資金をやりくりしつつ、スタッフを雇ったり引き抜いたりしながら、あなただけの映画をつくらうとしています。

このゲームは、優秀なスタッフを集めて映画をつくり、多くの収入を得ながらそれを価値ある映画として完成させることが目的です。
多くの才能あふれるスタッフが映画のプロモートも行うことでさらなる追加収入を得ることもできるでしょう。

🎮 内容物

下の図を参照してください。

- 1 スタッフカード**: 計35枚
役職: 監督/俳優/カメラマン/脚本家
2～9の数字が書かれたカードが4種類各8枚ずつ (計32枚)
役職: プロデューサー (3枚)
 - 2 10金紙幣**: 65枚
 - 3 衝立フォルダ**: 5枚
 - 4 封蝋シール**: 5色 (5枚)
衝立フォルダに1枚ずつ貼っておきます
 - 5 財布**: 5色 (5枚)
 - 6 送付先変更コースター**: 1枚
追加ルール用の丸いカード
 - 7 映画賞カード (ミニ拡張カード)**: 2枚
ミニ拡張用のカード
金箔賞カード、灰箔賞カード
- 得点表**: 2枚 (コピーしてお使いください)
ルールブック: 本紙 (8ページ)



🎮 ゲームの準備

5人プレイ時

すべてのスタッフカードを使用します

4人プレイ時

4のスタッフカードは使用しません
プロデューサーカードは二枚のみ使用します
これらのカードには~~X~~が記載されています

3人プレイ時

4と7のスタッフカードは使用しません
プロデューサーカードは一枚のみ使用します
これらのカードには~~X~~が記載されています

各プレイヤーにカードを7枚ずつ(3人プレイ時は8枚)配ります。あまったカードは今回のゲームでは使用しません。

10金紙幣を10枚ずつ配ります。あまった紙幣はゲーム終了時に使用しますので、銀行にあるものとして分かりやすい場所に置いておきましょう。

衝立フォルダと、衝立フォルダに貼っている封蝋と同じ色の財布を受け取ります。財布には自分のお金をいれてください。カードは財布の中に入れて横に伏せておくと良いでしょう。

プレイヤーの前の場には、カード置き場として手前にオフィス(以下 **オフィス** と表記)、奥にスタジオ(以下 **スタジオ** と表記)があります。

スタジオ で映画を制作し、**オフィス** でそのバックアップをして映画をつくっていきましょう。



🎮 ゲームの進行

以下の行動は、プレイヤー全員が同時に行っていきます。

1、2、3の各ステップごとに全員の処理が終わったのを確認してから、次のステップに進むようにします。

1 衝立フォルダに任意のスタッフカード一枚と任意の額の紙幣を入れて左隣のプレイヤーに渡します。紙幣は入れなくてもかまいません。フォルダに入れる金額はそのスタッフの価値と考えてください。

※この行動は衝立フォルダを立てて手許を隠しながら行いましょう。あなたの行動を他のプレイヤーに見せる必要はありません。

2 右隣のプレイヤーから受け取ったフォルダの中身を確認し、以下のどちらか好きな方の行動を選びます。

2-A 資金確保

お金がほしい場合は、フォルダから紙幣を抜いて自分のものとします。紙幣は財布に収めておきましょう。

フォルダ内のスタッフカードはフォルダに入れたまま、右隣の人に戻してください。

※受け取ったフォルダに紙幣が入っていなかった場合、0金の紙幣を受け取ったこととしてフォルダをそのまま戻してもかまいません。

2-B 引き抜き

スタッフカードがほしい場合は、フォルダからカードを抜いて財布に入れてください。そしてフォルダに入っている紙幣と**同じ額の紙幣を入れて**右隣の人に戻します(フォルダに紙幣が入っていなかった場合、0金でカードを入手する事ができます)。手に入れたカードは**3-B**で配置します。

※あなたが**2-A 資金確保**と**2-B 引き抜き**のどちらの行動を取ったか他のプレイヤーに分からないように、これらの行動も衝立フォルダを立てて手許を隠しながら行います。

3 プレイヤーは左隣のプレイヤーから戻ってきたフォルダの中身を確認して、フォルダの中身に対応した行動を行ってください。

3-A 紙幣が戻ってきた場合、それはあなたのお金となります。財布に入れておきましょう。

3-B カードが戻ってきた場合は以下のルールに従ってカードを**スタジオ**に配置します。

2-B でカードを手に入れていた場合にもこの時に配置します。

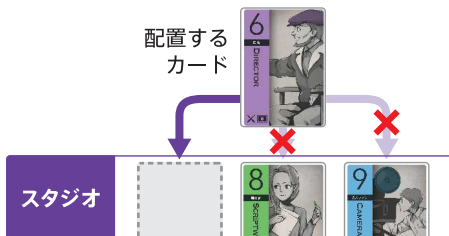
カードが二枚ある場合は任意の順番で**スタジオ**に置くことができます。

! スタッフカードの配置方法

映画の制作を進めるため、カードは最初に**スタジオ**に配置しなければなりません。

→ スタッフカードは空いている場所に

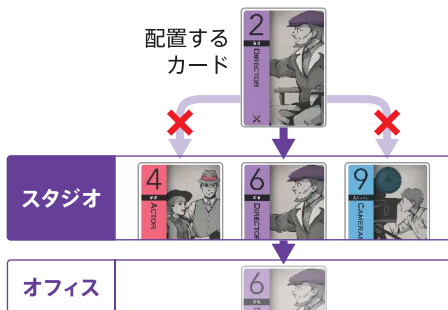
スタジオに置かれているカードが二枚以下で空いている場所があるならそこに置かなければなりません(下図参照)。



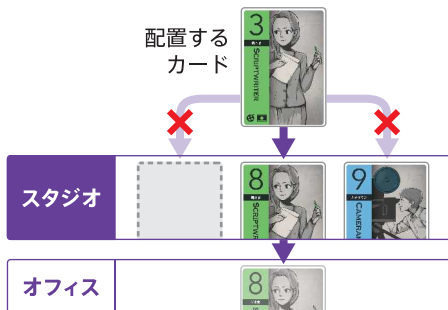
ただし**スタジオ**に置くことのできるスタッフカードは各役職ごとに一枚ずつ、合計で**三枚まで**と決まっています。

→ 同じ役職のカードは一枚まで

置こうとしたカードと同じ役職のカードがすでに**スタジオ**に配置されていた場合は**スタジオ**にいる同じ役職のカードを**オフィス**に移動させてから、新しいカードを配置しなければなりません(下図参照)。



※**スタジオ**に置かれているカードが二枚以下で空いている場所があったとしても、こちらのルールが優先されます(下図参照)。

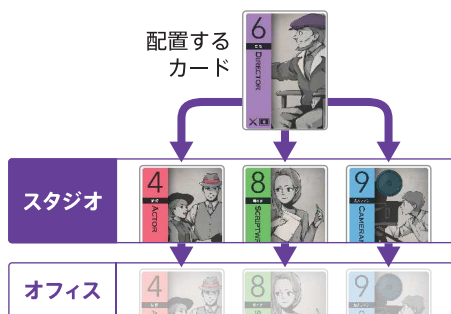


→ **スタジオ**がいっぱいなら

スタジオのカードを**オフィス**に

すでに**スタジオ**に三枚置かれていてそこに同じ役職のカードがない場合、**スタジオ**の好きなカードを一枚**オフィス**に移動させたうえで、**スタジオ**の空いた場所に配置することになります(次ページ図参照)。

※ここで配置するカードは必ず最初に**スタジオ**に置かれることに注意してください。



オフィスにカードが移動するのは他のカードに押し出される時のみです。

オフィスに置かれるカードに枚数の制限はありません。

すべてのプレイヤーの**スタジオ**と**オフィス**の内訳は、他のプレイヤーからもよく見えるようにしておかなければなりません。

- 4 このように**1**～**3**のステップを繰り返し、全員の手札がなくなった時点でゲームは終了します。

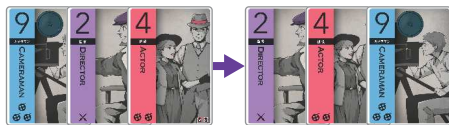
映画の完成度

こうしてあなたのあなたによるあなたのための映画が完成しました！さっそく試写会を行い、その完成度を確認しなければなりません。

ここでは**スタジオ**で撮影に参加しているカードの数字に注目します。

カードに書かれている数字が小さい順に、カードを左から順に並べてください。この並んだ数字があなたの映画の完成度となります。

スタジオに三人スタッフがいた場合は3ケタの数字となっているはずです。



スタジオにこのようなカードが参加していると

上図のように「249」の完成度となります

スタジオに三枚のカードがない！

減多にないことですが**スタジオ**に三枚のカードがそろわないことがあります。



あなたは映画を完成させるためスタッフ集めに奔走しましたが、必要なスタッフは集まりませんでした。残念ながらあなたは映画を完成させることが出来ずにゲームから脱落してしまうこととなります。


興行収入の計算

完成した映画は全国の映画館での興行に旅立ちます。各プレイヤーは以下の順番で完成した映画の興行収入を計算していきます。

1 映画のプロモーション

映画制作にかかわったスタッフのさらなる尽力により、あなたの映画の興行収入は上がっていきます。

オフィスにいるカードに記されている  (資金アイコン) に注目してください。  の数だけ、10金紙幣を受け取ることができます。

例 **オフィス** に下図のようなカードがいた場合、脚本家以外4枚のカードに  のアイコンがひとつずつあるため「40」金分の紙幣を受け取ることができます。



2 スタッフへの賃金を支払います

優秀なスタッフの労働への対価として、あなたの **スタジオ** と **オフィス** にいるカード×10金分のお金を支払わなければなりません。手持ちの紙幣より、スタッフへの賃金を支払ってください。

! ただし **オフィス** (**スタジオ** ではなく) に監督かプロデューサー (ペンアイコン「X」が記されています) がいれば賃金を支払う必要はなくなります。


優秀なプロデューサーや監督の仕事は映画制作だけにとどまりません。彼らが **オフィス** で事務作業に専念できるようになると、関係各所との折衝やスポンサーとのやりとり、予算の精査などを行えるようになり、スタッ

フの件費程度は簡単に稼ぐ(もしくは経費削減する)ことができるようになります。

! 手持ちのお金が少なくて、スタッフの賃金を支払えない!


労働の正当な対価をもらえなかったスタッフ達は、怒り、わめき、暴れだし、完成した映画のフィルムを奪い取り破壊し出しました!……は冗談ですが、完成した映画を公開することができないこととなり、あなたはゲームから脱落してしまいます。


3 最終的な興行収入

映画は無事に公開されることとなりました。最期に、**オフィス** のカードに記されている  (制作アイコン) の数を数えてください。

➔ 手持ちのお金× の数

が、あなたの映画の最終的な興行収入となります。

手持ちのお金が0、または **オフィス** に  アイコンがひとつもなかった

興行収入は 手持ちのお金× の数 ですから、いずれかが「0」であれば最終的な興行収入は「0」となります。

信じられないことにあなたの映画の良さを理解できた観客はこの広い世界にそれほどいなかったようです。映画の出来はともかく興行としては失敗だといえるでしょう。ひとまず赤字にならなかつただけでも満足するしかありません。

映画の価値

映画の完成度と最終的な興行収入を足した値＝映画の価値が最も多かったプレイヤーの勝利となります！

例 ここでは例として、下図のような状態でゲームを終了した場合の映画の価値を計算してみます。



まず映画の完成度から。

スタジオにいるスタッフのカードを数字の低い順に左から並べると「469」となり、これが映画の完成度となります…… a

次にオフィスのカードの●アイコンの数を数えます。

●アイコンは3つありますので、30金分の紙幣を受け取ってください。ゲーム終了時には60金分の紙幣がありましたから、この時点で合計90金分の紙幣を持っていることとなります。

ここでスタッフの賃金について考えます。この例では、スタジオには監督やプロデューサーがいるのですが、オフィスには×(ペンアイコン)を持つ監督やプロデューサーが不在です。そのためスタッフの賃金を支払わなければなりません。スタジオに3人、オフィス

に5人のスタッフがいますので、計8人分＝80金の賃金を手持ちの紙幣より支払わなければなりません。

これにより手持ちの紙幣は10金となります。最後にオフィスのカードの●アイコンの数を数えると、ここでの●アイコンは9個ですから最終的な興行収入は10金×9＝90金となり、aの「469」と足した結果、「559」があなたの映画の価値となります。

さてここまでで気がついた方がいるかもしれませんが、オフィスに×(ペンアイコン)を持っている監督やプロデューサーがいるかどうかはかなり重要な問題です。

例 さきほどの例でスタジオの監督と、オフィスのカメラマンを入れ替えてみましょう。



この場合の映画の完成度は先ほどの例よりも低い「349」となります…… b

●アイコンの数は先ほどの例と同じく3つありますから、手持ちの紙幣は90金となります。

ただこの例ではオフィスに×(ペンアイコン)を持つ監督がいるため、スタッフの賃金を支払う必要がなくなりました。

そのためオフィスの●アイコンは8個に減っ

てしまいますが、**最終的な興行収入**である90金×8=720金を**b**に足した結果の「1069」があなたの**映画の価値**となります。監督の手腕により人件費を支払い必要経費を抑えられることができた結果、貴方の映画は先ほどの例よりも倍近い価値を得ることとなるのです！

とはいえ
小さい数字の
カードが
よいかも？

このように様々なスタッフを適切に配置することで、あなたの創った映画は多くの人々の力によって素晴らしい完成度と高い収入を獲得することができるようになります！あなたは優秀なスタッフと共に素晴らしい映画を完成させ、さらに多くのスタッフと共に興行を成功させることができたのです。

とはいえ
最初は
紙幣一枚
とかでも……

※映画の価値を算出するための計算には得点表を利用すると便利でしょう。得点表は一枚で三回分のプレイに使用することができます。コピーしてご利用ください。

ゲームのヒントとよくある質問

1 一番最初にどのカードを出せばいいのかわかる

多くの場合 同じ役割のカードが複数枚あるはずですから、そこからカードを出してその時の相場観を探るのがおすすめです。

2 一番最初にどのくらいのお金をフォルダに入れたらいいのかわかる

同席しているプレイヤーによって変わってきますので、正解はないといえますし、そのあたりの相場観を探るのもこのゲームの楽しみのひとつといえます。

3 手持ちのお金は得点になりますか？

ゲーム終了時に残ったお金は**最終的な興行収入**を決定するための資金となるだけで、それが直接的な得点にはなりません。たとえ最終的にあなたの財布に500金の紙幣があったとしても、**「オフィス」**に**「制作アイコン」**がひとつもなければ**最終的な興行収入は「0」**となってしまいます。

4 手持ちのお金がなくなりました！

ゲームの進行 1 でフォルダにお金を入れない場合やプレイ中に資金がなくなってしまう場合、フォルダにお金を入れずにゲームを進めることができます（最期にスタッフの賃金を支払うことは忘れないでください！）。

あなたの左隣のプレイヤーは、無料でスタッフを引き抜くことができるということです（もちろん引き抜かなくてもかまいません）。

5 銀行のお金は無限にあります

興行収入のやりとりの際に、銀行の紙幣が足りなくなった場合は、何か扱いやすいチップなどで代用してください。

🎮 オプションルール

！ヘッドハントは手当たり次第！(4～5人用)

これはスタッフとお金のやりとりを、すべてのプレイヤーとできるようにするための追加ルールです。何度か基本ルールで遊んでから試してみてください。

中央に送付先変更コースターを置きます。

コースターは両面印刷されており、4人なら4色4分割されている面、5人なら5色5分割されている面を表にしてプレイヤーたちの中央に置いておきます。

自分の前にある色に対応した衝立フォルダと、衝立フォルダに貼っている封緘と同じ色の財布を受け取り、ゲームを開始します。

ゲーム開始時にコースターを反時計方向に1分割分まわしましょう。自分の目の前にある色のプレイヤーにフォルダを渡します。

取引が終わったらまた1分割分まわして別なプレイヤーと取引を行います。自分の色が目の前にある場合はもう1分割分まわしてください。

！映画賞は誰の手に！

映画の完成度を重視したプレイのために、ミニ拡張カードを使用することもおすすめします。

二枚の**映画賞カード**を場の中央に置き、このプレイでは映画賞が授与されることを明示しておきます。

金拍賞：映画の完成度が一番高いプレイヤーに+200金が与えられます。

灰拍賞：映画の完成度が一番低いプレイヤーに-100金が与えられます(マイナスされます)。

映画の価値

映画の完成度 + 最終的な興行収入



デザイン：月並いおり

サポート：吉田昌弘

2016年5月5日初版発行

2016年12月11日第三版発行

お問い合わせは(メール)：iori@kichikichian.com

最新情報は(公式サイト)：http://www.kichikichian.com

イラスト：ナリコ

翻訳：サイゴウ

2016年5月15日第二版発行